

ようこそ KaSpl（特定非営利活動法人 関西宇宙イニシアティブ）へ

まいど1号が打上げられました。

宇宙開発は巨大な技術の集積であり多額の経費を要するために、気象予報・衛星放送・カーナビ等で日常生活に欠かせぬものになっているにもかかわらず、一般市民の意識からは遠く離れていました。

まいど1号は東大阪から”やったろやないか”と発案され、産学官連携の下に日本で初めて中小企業の技術で製作された衛星です。山積する難題を克服して実現したこの成功は、宇宙開発のイメージを庶民レベルに引き寄せました。

私たちはこのパワーを関西全域に拡大し、小型人工衛星技術の更なる推進に繋げて行くことを願っています。

宇宙は子どもたちの夢の原点です。子どもたちが、あらゆる最新科学の集合体である宇宙技術と出会えば、それをきっかけに子どもたちを科学の世界にいざなうことができるのではないのでしょうか。

子供たちの「なんで?」「どうなってんの?」「ふしぎい!」を受け止め、育てる、そのような場をつくることも、私たちが KaSpl を立ち上げた理由の一つです。

まいど1号に続く衛星に、子どもたちが直接ふれることが出来る機能を盛り込み、衛星と遊ぶ広場をつくって、それを実現したいと思っています。

市民の皆さんのご賛同を

次の衛星（非営利の衛星です）を製作し、打ち上げるには、やはり相当なお金がかかりますので、公的資金を出してもらわなければなりません。大勢の一般市民の皆さんが賛同しておられることがわかれば、国はそれを判断材料の1つとすることでしょう。

KaSpl の趣旨にご賛同いただき、ご支援賜りますことをお願い申し上げます。

以下に、今回の趣旨の背景と KaSpl が目指します活動をご説明いたします。

1. 小型人工衛星とは

世界的には重量が 500kg 以下の衛星を小型衛星と呼んでいますが、ここでは小型衛星の中でマイクロサットといわれている 50 kg 前後の衛星を指しています。まいど1号の重量は約 50kg で、大きさは約 50 cm 角の立方体です。

小型衛星は機能は限られるものの、短期間で安価に製作することができ、コストが高すぎることや、構想から打ち上げまでの時間が掛かり過ぎてビジネスには向かないというネックが解消され、新たな利用や宇宙ビジネスの展開が期待されます。

2. まいど1号

NEDO（注1）が資金を拠出して、東大阪を中心とする中小企業の協同組合、大学（大阪府立大学、大阪大学、龍谷大学など）、JAXA（注2）の3者の連携の下に開発が進められました。

まいど1号に続く小型衛星については、JAXA や大学からの支援は期待できるものの、製作する資金が得られる目処がついている状態にはありません。

この時期を逃せば、関西が小型衛星による宇宙開発の拠点となるチャンスはなくなって

します。KaSpl は国に提案する次のプロジェクトの立案・推進を支援します。

3. 関西流の本音の連携と協働

今までの宇宙開発ではなかなかやれなかった部品の汎用化やコストダウンを、関西の中小企業の「ものづくり」の技術を活かすことによって達成することが、次のプロジェクトの目的の一つです。

また関西には、世界中でここにしかないと言う特徴のある技術を保有している会社がたくさんあります。プロジェクトが地の利の良い関西で立ち上げられることで、それらの技術を活かすことが可能になります。

この分野で中小企業の技術を活かすには、逆説的ですが公的機関や大企業との連携が不可欠です。そしてそれは、言うは易く・・・でありましょう。

KaSpl は、本音で話し合う関西流で連携と協働を実現するための、潤滑剤と接着剤の役割を引き受けます。

4. 子供たちの、宇宙とのふれあい・科学とのふれあい

科学技術や「ものづくり」が育たなければ国は成り立たないとの理念のもと、その担い手の育成が画策されています。しかし、そもそも技術を志向する人がいなければ、どんな方策も無意味です。

次の衛星として、子どもたちが端末機で直接人工衛星を操作するようなプログラムを組み込んだ衛星を提案します。最先端の技術を自分の手で使うことで、単なるゲームとは異なった、実感の伴う興味を引き出すことがねらいです。

それをきっかけとして、宇宙開発に投入されている様々な科学分野の最新の知識に触れ、その魅力に触発される子どもたちが出てくることを期待します。

ご入会をお待ちしております

私たちは KaSpl を、関西での宇宙開発活動を盛んにし、様々な効果が生まれることを願い、そのために全員が語り、行動する会として設立しました。

成果を挙げるには市民の皆様のご参加とご支援が必要です。ご入会を心よりお待ちしております。

注記

注1：NEDO (New Energy and industrial technology Development Organization)
独立行政法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構

注2：JAXA (Japan Aerospace Exploration Agency)
独立行政法人 宇宙航空研究開発機構
NASDA (宇宙開発事業団)、ISAS (宇宙科学研所)、NAL (航空宇宙研究所)
の3機関が統合され、2003年に設立されました。